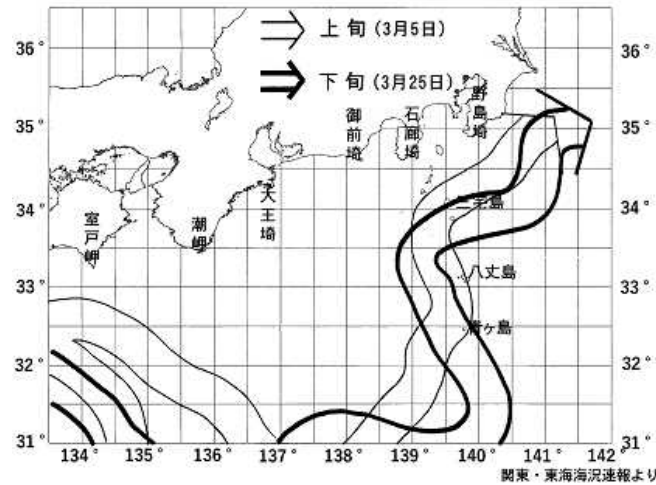


漁海況月報

令和6年3月1日

No. 3 ~3月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



3月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	15.3	16.0	14.6	16.4	16.2	14.8
	1.5	1.4	0.3	1.8	1.8	0.7
中旬	15.8	16.3	15.5	16.2	16.2	15.7
	1.7	1.5	1.0	1.3	1.4	1.1
下旬	15.1	15.7	15.4	15.9	15.5	14.9
	0.6	0.6	0.5	0.7	0.3	0.1
月	15.4	16.0	15.2	16.2	16.0	15.2
	1.2	1.2	0.6	1.3	1.2	0.6

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

3月を通じてA型で、上旬、中旬は遠州灘沖で大きく離岸した後、石廊崎沖まで北上し、下旬は潮岬沖及び八丈島南方でW字状に離岸した後、三宅島付近まで北上する流路となった。

上旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から石廊崎沖34.0°Nまで北上した後、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

中旬は遠州灘沖で大きく離岸し、遠州灘沖30.5°N付近から石廊崎沖33.5°Nまで北上した後、三宅島~八丈島間を通過して北東に流去した。

下旬は潮岬沖で30.0°Nまで大きく離岸し、遠州灘沖で31.5°Nまで北上した後、八丈島南方31.0°Nまで離岸した。その後、石廊崎沖33.5°Nまで北上した後東進し、三宅島付近を通過して北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮北縁から駿河湾、大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は下田で「平年並」、稲取、焼津で「やや高め」、伊東、雲見、沼津で「高め」であった。中旬は下田、雲見、沼津、焼津で「やや高め」、伊東、稲取で「高め」であった。下旬は沼津、焼津で「平年並」、伊東、稲取、下田、雲見で「やや高め」であった。

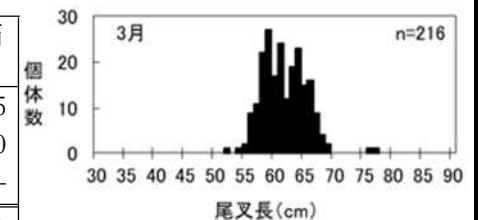
【竿釣カツオ】

3月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは4.8トンで前年同月(23.4トン)の21%であった。平均単価は1,090円/kgで前年同月(597円/kg)を上回った。

漁場は30-31°N、138-139°Eの海徳場などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は大(尾叉長59cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚隻数	平均水揚量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年3月上旬	4.2	2	2.1	1,045
中旬	0.6	3	0.2	1,400
下旬	-	-	-	-
R6年3月計	4.8	5	1.0	1,090
R5年3月計	23.4	8	2.9	597
R4年3月計	3.2	5	0.6	875



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は581.0トンで、前年(296.5トン)の2.0倍、平年(376.9トン)の1.5倍であった。また、1か統当たりの水揚量は83.0トン(前年:42.4トン、平年:53.8トン)であった。水揚量の多い漁場は、伊豆山漁場(147.8トン、マイワシ、ブリ、マアジ)、次いで北川漁場(101.0トン、マイワシ、マアジ、マルソウダ)であった。

多獲された魚種の水揚量は次頁(表)のとおりで、マイワシは371.6トンで、前年比4.5倍、平年比5.3倍であった。ブリは72.1トンで、前年比52%、平年比1.4倍、銘柄ぶりが主体であった。さば類は55.6トンで、前年比3.3倍、平年比1.7倍であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは40.1トンで、前年比4.0倍、平年比3.8倍、ゴマサバは15.6トンで、前年比2.2倍、平年比59%であった。なお、さばっこは8.9トン(表記載以外)で、前年比10.6倍、平年比16.3倍であった。マアジは23.8トンで、前年比4.6倍、平年比35%であった。マルソウダは18.6トン、前年比3.3倍、平年比83.1倍で、昭和57年以降、最も多い水揚量であった。その他の魚種では、カンパチが昭和57年以降、メアジ、キハダが昭和62年以降、最も多い水揚量であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚量の割合は、マイワシでは伊豆山漁場が30%(111.0トン)、北川漁場が21%(76.4トン)、ブリでは川奈漁場が30%(21.6トン)、伊豆山漁場が30%(21.5トン)、富戸漁場が19%(13.4トン)、さば類では古網漁場が30%(16.7トン)、富戸漁場が29%(15.9トン)、赤沢漁場が19%(10.3トン)、マアジでは北川漁場が24%(8.1トン)、川奈漁場が20%(6.5トン)、伊豆山漁場が17%(5.6トン)、赤沢漁場が16%(5.3トン)、マルソウダでは北川漁場が35%(6.5トン)、富戸漁場が35%(6.5トン)、伊豆山漁場が16%(2.9トン)であった。

*平年：昭和57年~令和5年の平均値

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マイワシ	371.6	4.53	5.27	伊豆山、北川
ブリ	72.1	0.52	1.36	川奈、伊豆山、富戸
さば類	55.6	3.26	1.67	古網、富戸、赤沢
マアジ	23.8	4.57	0.35	北川、川奈、伊豆山、赤沢
マルソウダ	18.6	3.26	83.13	北川、富戸、伊豆山

[サバたもすくい・棒受網]

小川港所属の棒受網漁船は、月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は上中旬は大島千波、下旬は大島千波、ひょうたん瀬及び利島に形成された。

水揚量はマサバ5トン(前年同月比3%)、ゴマサバ79トン(前年同月比1.4倍)であり、1隻当たり水揚量はマサバ0.4トン(前年同月比4%)、ゴマサバ6.1トン(前年同月比1.9倍)であった。

平均単価は、マサバは226円/kgで前月(260円/kg)を大きく下回り、前年同月(183円/kg)を大きく上回った。ゴマサバは218円/kgで前月(202円/kg)を上回り、前年同月(185円/kg)を大きく上回った。

漁獲物の体長組成は、マサバは32cmと36cmにモードを持つ2峰型、ゴマサバは35cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年3月上旬	1	4	1	2	0.5	2.0	231	339	大島千波
中旬	3	66	4	8	0.4	8.3	201	191	大島千波
下旬	1	9	2	3	0.3	2.9	317	369	大島千波、ひょうたん瀬、利島
R6年3月計	5	79	7	13	0.4	6.1	226	218	大島千波、ひょうたん瀬、利島
R5年3月計	158	55	10	17	9.3	3.3	183	185	大島千波、三宅・三本
R4年3月計	127	48	9	14	9.0	3.4	79	75	利島、金洲、銭洲

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

令和6年の春漁は3月25日が初漁日であった。3月の出漁日数は2日、水揚量は28.1トンであった(前年同月は出漁なし)。主漁場は戸田沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は32~34mmと35~37mmにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R6年3月上旬	-	-	-
中旬	-	-	-
下旬	28.1	2	戸田沖
R6年3月計	28.1	2	-
R5年3月計	-	-	-
R4年3月計	0.9	1	田子の浦沖(試験操業)、焼津沖
R3年3月計	5.7	2	三保沖、焼津沖

*-:出漁なし

[シラス船曳網]

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、駿河湾(由比、静岡、吉田)が357kg、遠州灘(御前崎、福田、舞阪、新居)が526kgであった。平均水揚量は435kgで前年同月(163kg)の2.7倍、前年同月(過去5か年平均:402kg)の1.1倍であった。また、総水揚量は248.1トンで前年同月(121.0トン)の2.1倍、前年同期(283.3トン)の87.6%で前年同月を大きく上回ったが、前年同月を下回った。平均単価は676円/kgで前年同月(1,455円/kg)の46%、前年同月(719円/kg)の94%で前年同月を大きく下回り、前年を下回った。

7港のシラス水揚量

漁港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)	
遠州灘	新居	13.6	3	33	411	760
	舞阪	45.8	3	117	392	834
	福田	34.6	3	74	467	828
	御前崎	43.9	4	38	1,156	552
駿河湾	吉田	46.9	5	130	361	627
	用宗	57.8	5	116	498	531
	由比	5.5	3	63	87	1,119
R6年3月計	248.1	26	571	435	676	
R5年3月計	121.0	35	743	163	1,455	
R4年3月計	155.2	31	607	256	592	

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年:過去5か年(平成31~令和5年)の平均値

[まき網(いわし類)]

マイワシの水揚量は、沼津港では1,347トン(前年同月比1.8倍、前年同月比86.1%)、小川港では1,056トン(前年同月比1.6倍、前年同月比1.4倍)であった。伊東港、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは、伊東港、静浦港、沼津港、小川港いずれも水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは371.6トン、カタクチイワシは0.04トンであった。

*平年:過去5か年(平成31~令和5年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

3月4日	ドックから回航	(1日間)
3月7日~3月8日	地先定線観測調査	(2日間)
3月11日~3月12日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)
3月13日	超短波無線通信訓練	(1日間)
3月18日~3月19日	サクラエビ音響調査	(2日間)
3月21日	さば類音響調査及び代替飼料調査	(1日間)
3月27日	引継ぎ習熟航海	(1日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

